



令和4年度学校だより

5月20日

# 五福校 ごふくこう

No22

文責 本田

## 対話的な学びをとおして・・・

### 思考を可視化し新しい知識を生み出します 協働して答えを見つけていきます

先日、熊本大学の前田康裕先生に来てもらって、先生たちみんなで「学ぶ」と「習う」の違いについて学びました。「学ぶ」とは何かに気づき、自分が変わることです。今、子どもたちには、知識をどれだけ持っているかということだけではなく、他者と協働して問題を解決する力が求められています。僕たちが育ってきた時代は、いかにたくさん覚えてそれをテストで書けるか、速く正しくできるかが求められていました。しかし、今は単に知識をどれだけ持っているかではなく、知識を使って問題をどう解決できるかということが求められています。そこで、大切になるのが対話です。対話によって、自分の考えがはっきりしたり、対話を通して新しい知識を生み出したりすることができます。人と話すことで自分の考えを整理できたり、新たな発見があったりすることは誰しもが経験していることではないかと思います。僕も黙って先生の話聞いていたのではなく、友達に質問しながら教えてもらったことの方が記憶に残っています。これから授業でも、子どもたちの考えをどんどん交流していきたいと思っています。みんなで「協働して答えを見つける」そんな授業を目指していきたいと思っています。



## 朝からたくさんの子どもがボランティア お花のお世話や運動場の整備など頑張っています。

朝から5、6年生の子どもたちが登校してからの朝の時間にお花のお世話をしたり、プロムナードを掃いたり、トラックのカーブを柔らかくしたりしてくれています。みんなのために自分の意思で動く子どもたちがたくさんいて嬉しいです。特に今年は6年生だけでなく5年生がたくさん活動していてすごいと思います。花が少なくて寂しかったプロムナードや花壇もずいぶん賑やかになってきました。運動会のトラックの準備も体育委員の活動によって支えられています。ありがとう。

